

## 歴史文化資源を活用した地域づくり事例

# 歴史文化資源を活用した地域づくり事例

## 目次

青森県	青森市	都市公園再整備における三内丸山古墳の保全	2
山形県	川西町	里山環境保全地域下小松地区	4
富山県	氷見市	柳田布尾山古墳の史跡公園による保全	6
兵庫県	南但馬	歴史文化ミュージアム構想による茶すり山古墳保全・活用計画	8
石川県	鹿島町	能登歴史公園（石動山地区）整備による寺院遺構等の保全	10
福井県	福井市	一乗谷朝倉氏遺跡の発掘整備と活用	12
秋田県	角館町	武家屋敷の保全と活用における住民によるまちづくり活動	14
富山県	平村・上平村	世界文化遺産五箇山合掌造り集落の保全	16
富山県	平村・上平村	世界文化遺産五箇山合掌造り集落を活用したグリーンツーリズム	18
富山県	利賀村	合掌づくり家屋を活用した利賀芸術公園における舞台芸術の創造と振興	20
富山県	平村・城端町	平の祭（「五箇山麦屋まつり」「こきりこ祭り」）及び城端むぎや祭	22
福井県	上中町	熊川宿の町並みを活かしたまちづくり	24
山口県	萩市	堀内・平安古・浜崎地区における景観の保全と活用	26
山口県	萩市	萩開府400年記念事業	28
山形県	金山町	街並み（景観）づくり100年運動	30
新潟県	出雲崎町	海岸地区妻入りの街並み保全	32
福井県	武生市	蓬萊町地区街なみ環境整備	34
福井県		歴史の香る建造物保存・活用事業	36
兵庫県	出石町	景観形成地区 城下町地区	38
兵庫県	城崎町	景観形成地区 城崎温泉地区	40
兵庫県	生野町	景観形成地区 口銀谷地区	42
兵庫県	和田山町	景観形成地区 竹田地区	44
兵庫県	大屋町	景観形成地区 大杉地区	46
山口県		維新史回廊構想	48
富山県	富山市	近代土木遺産の復元を通じた都市公園等整備	50
山口県	下関市	関門景観の形成推進	52

## 青森県 青森市 都市公園再整備における三内丸山古墳の保全

### 位置

生活圏域名、市町村名、市町村における地区名等

青森市大字三内及び大字安田

### 緑地資源の概要

活用緑地資源の名称、種類や規模等

名称	三内まほろばパーク・総合芸術パーク・青森県総合運動公園
種類	広域公園（都市公園）
規模	A = 74.8 ha

### 活用の目的等

活用事例の背景、目的等の概要

#### （背景）

昭和41年のインターハイを契機に建設された運動公園を、平成3年に区域拡張し施設の充実を図ろうとしたところ、埋蔵文化財発掘調査により、三内丸山遺跡が世界的に貴重な遺跡であることが判明した。平成6年に歴史公園として遺跡の保存活用を決定するとともに、遺跡区域以外の部分については、新総合運動公園に運動施設を移転の後、美術館を核とした総合芸術パークとして再整備することとした。遺跡は、平成12年に国特別史跡に指定された。

#### （目的）

##### 三内まほろばパーク

縄文人の「むら」の跡を貴重な歴史遺産として保存し、そのたたずまいを体感・体験できる場として整備し、縄文が現代に投げかけている諸問題を様々な活動をとおして発信する、文化交流の拠点とする。

##### 総合芸術パーク

森や谷など縄文の大地を復元し、往時の世界と未来への予感が重層する空間を創出することにより、豊かな芸術性を感じ、様々な芸術活動が展開できることをめざす。核施設として青森県立美術館（仮称）を整備し、青森県の自然や風土を源泉とする新たな芸術創造・発信の拠点を形成する。

##### 青森県総合運動公園

長年県民に親しまれたスポーツの拠点であり、現有の運動施設を良好に維持しながら、各種大会の開催や一般県民の利用を図りスポーツ振興と健康増進の一翼を担うものである。

### 主な施設

活用事例において整備された施設、既存施設、また計画施設等

三内まほろばパーク＜整備済、整備中＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三内丸山遺跡（遺構公開・復元展示・遺物資料展示）</li> <li>・縄文時遊館（ビジターセンター）</li> </ul>
総合芸術パーク＜整備中＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立美術館（仮称）</li> <li>・アートサークル（芸術広場）・縄文の谷（ウォークウェイ）</li> </ul>
青森県総合運動公園＜既存＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野球場・陸上競技場・プール・テニスコート・サッカーグラウンド</li> </ul>

## 活用状況

(スケジュール・今後の展開予定)

活用事例の計画・整備、開始時期、今後の展開予定等

平成 14 年度 まで	(三内) 基本構想・計画及び短期整備施設(遺構公開覆屋・建物等復元・休憩所)、公園センター、園路・広場、復元展示、駐車場の各整備・供用 (芸術) 基本計画、基本設計(プロポーザル)、公園実施設計、美術館設計・着工
平成 15 年度	(三内) 照明設計 (芸術) 旧公園施設解体撤去、埋蔵文化財発掘調査、公園施設設計、美術館建築
平成 16 年度 以降	(三内) 照明施設整備、植栽 (芸術) 美術館建築、造成、園路・広場・駐車場等整備(平成 18 年度開園予定) (運動) 各種競技大会・スポーツイベント等の開催(15 年度以前同じ)

(事業)

活用事例に適用されている事業

都市公園事業(国庫補助) 地域活性化事業債

(関係主体) 計画や実施に際して不可欠な主体、特に地域住民団体、NPO組織、業界団体、民間事業者の関わり

・三内丸山遺跡への来園者に対し、ボランティア組織「三内丸山応援隊」がガイドを実施している。

特徴

評価できる点、他事例にはないと考えられる特徴等

・三内まほろばパークは、世界を代表する縄文遺跡を擁する、有数の歴史公園である。  
・総合芸術パークにおいても計画主旨の柱に縄文世界を位置づけており、復元された植生や修景に活用されている植栽(樹木・地被)を含め、公園全体が偉大な緑地資源と考える。

図版・写真等



青森県県土整備部都市計画課ホームページ: <http://www.pref.aomori.jp/toshikei/kouen/sannai.html>

担当(紹介)部署

青森県県土整備部都市計画課

## 山形県 川西町 里山環境保全地域下小松地区

### 位置

生活圏域名、市町村名、市町村における地区名等

山形県東置賜郡川西町下小松地区

### 緑地資源の概要

活用緑地資源の名称、種類や規模等

名称	里山環境保全地域川西町下小松地区（含む国指定史跡下小松古墳群）
種類	里山・史跡
規模	約 119ha（うち国史跡約 42ha）

### 活用の目的等

活用事例の背景、目的等の概要

#### （背景）

里山は、昭和 30 年代までは、薪炭林として生活システムの中に組み込まれていたため適度に利活用されていたが、エネルギー革命によってその必要性が薄れ、人の生活に密接に関わることで保たれていた環境が維持できなくなってきたこと。また、国指定史跡でもあり、保護意識を高揚するためには多くの人に親しんでもらう必要があること。

#### （目的）

有史以来、長い間育まれてきたこの土地での生活を知り、未来に伝えていくこと。

### 主な施設

活用事例において整備された施設、既存施設、また計画施設等

- ・史跡地区については、川西町第三次総合計画において「古代ロマンの丘」整備構想があり、これまでに拠点施設や遊歩道、各種便益施設等を整備することを目的として庁内での検討を行ってきたが、構想は現在休止状態となっており、具体的計画には至っていない。
- ・その他の里山環境保全地域エリアでは、管理施設や管理道路の整備を構想している。
- ・なお、これまでに該当地は東北自然歩道「眺山とダリヤ園を辿るみち」の一部として、サインや東屋が設置されている。

### 活用状況

（スケジュール・今後の展開予定）

活用事例の計画・整備、開始時期、今後の展開予定等

- 平成 15 年度までに以下の事業を実施した。
- ・日本ナショナルトラストによる観光資源保護調査（平成 9 年度）
  - ・歴史と自然の里づくり事業（「古墳おもしろゼミナール」や「里山フェスタ」等の活用事業）の実施（平成 4 年度以降毎年）
  - ・古代ロマンの丘整備事業による下小松古墳群整備基本計画策定委員会の設置、基本計画の検討（平成

14 年度)

・平成 16 年度は、古代ロマンの丘整備事業、歴史と自然の里づくり事業はともに休止

(事業)

活用事例に適用されている事業

山形県里山環境保全モデル事業(平成 14 年度・平成 15 年度)

(関係主体)

計画や実施に際して不可欠な主体、特に地域住民団体、NPO 組織、業界団体、民間事業者の関わり

事業主体は川西町。さまざまな事業の実施にあたって、川西町文化財保護協会の支援を得ている。

特徴

評価できる点、他事例にはないと考えられる特徴等

里山環境と史跡を一体のものとし、双方の特徴を生かした活用を行っていること。

図版・写真等



下小松古墳群は、川西町の北西部、標高 230m ~ 280m ほどの丘陵中に広がる 4 世紀から 6 世紀にかけて造られた古墳群である。北から陣が峰・永松寺・薬師沢・鷹待場・小森山・尼が沢の 6 支群に分けることができ、古墳の総数は合わせて 202 基に及ぶ。この中には 21 基の前方後円墳(方)墳が含まれており、山形県内の半数以上の前方後円墳が集中している。

担当(紹介)部署

山形県文化環境部環境保護課

## 富山県 氷見市 柳田布尾山古墳の史跡公園による保全

### 緑地資源の概要

活用緑地資源の名称、種類や規模等

名称	国指定史跡柳田布尾山古墳
種類	史跡
規模	3.2ha

### 活用の目的等

活用事例の背景、目的等の概要

<p>(背景)</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 日本海側最大の前方後方墳である国指定史跡柳田布尾山古墳をいわゆる史跡公園として環境整備を実施。</li><li>2 柳田布尾山古墳は平成10年に発見され、日本海の海上交通を背景として栄えた大豪族の墓と考えられており、地域の歴史と文化を解明する上で貴重な史跡であり、人々の学習の場、憩いの場として整備するもの。</li></ol> <p>(目的)</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 史跡の保存に万全を期し、効果的な公開活用を図り、訪れた方々が古代を体感し学習できる場として整備</li><li>2 史跡に直接、見て触れることができるような整備を行い、ガイダンスのための施設等を配置</li></ol>
--

### 主な施設

活用事例において整備された施設、既存施設、また計画施設等

ガイダンス施設(約400㎡、平成15~17年度) 散策路、芝生広場、地形模型など
---

### 活用状況

(スケジュール・今後の展開予定)

活用事例の計画・整備、開始時期、今後の展開予定等

平成15年度 遺構等の把握調査、古墳の保護、整形等
平成16年度 園路整備、植栽等
平成17年度 ガイダンス施設工事等

(事業)

活用事例に適用されている事業

柳田布尾山古墳環境整備事業
---------------

(関係主体)

計画や実施に際して不可欠な主体、特に地域住民団体、NPO組織、業界団体、民間事業者の関わり

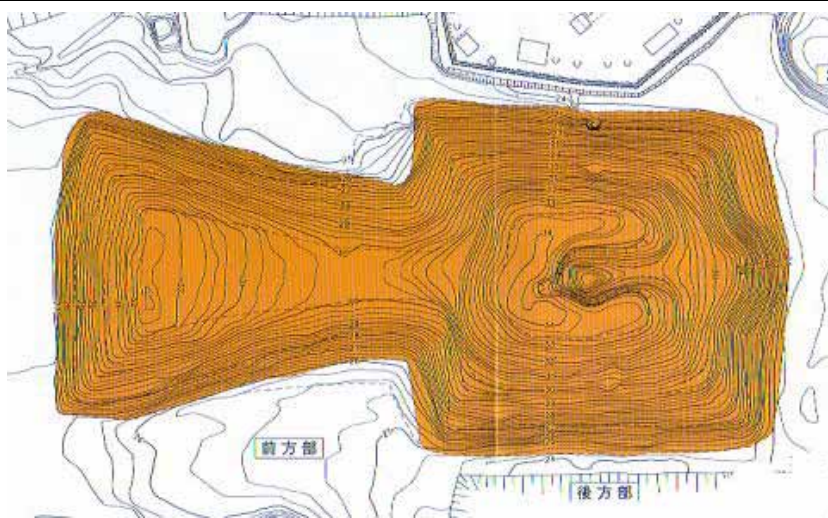
事業主体 氷見市

特徴

評価できる点、他事例にはないと考えられる特徴等

史跡公園として古墳の現況を留めながら、さらに墳丘とその周囲に緑化を図りながら、緑豊かな史跡公園の整備を実施する。

図版・写真等



全長 107.5m  
前方部  
長さ 53.5m  
幅 49m  
高さ 6m  
後方部  
長さ 54m  
幅 53m  
高さ 10m



<http://www.city.himi.toyama.jp/~60400/bunkazai/4-nunooyama.htm>

担当(紹介)部署

富山県教育委員会文化財課



## 兵庫県 南但馬 歴史文化ミュージアム構想による茶すり山古墳保全・活用計画

### 位置

生活圏域名、市町村名、市町村における地区名等

構想の対象範囲：朝来郡和田山町・山東町・朝来町・生野町

### 緑地資源の概要

活用緑地資源の名称、種類や規模等

名称	茶すり山古墳 等
種類	対象地域の古墳、自然、環境等の歴史文化遺産 等
規模	

### 活用の目的等

活用事例の背景、目的等の概要

(背景・目的)

平成14年度に発掘された近畿圏最大の円墳「茶すり山古墳」を中核として、地域の歴史・文化、各種の地域資源のネットワーク化を図り、地域の活性化を図る。

### 主な施設

活用事例において整備された施設、既存施設、また計画施設等

〔計画施設〕

- ・古墳公園：茶すり山古墳の保存及び周辺の整備（古墳、駐車場、通路等）
- ・道の駅：北近畿豊岡自動車道の山東PA内に整備予定
- ・埋蔵文化財センター：茶すり山古墳の埋蔵品等の保管展示（道の駅敷地内）
- ・サイクリングロード

構想策定中のため、現段階の整備施設はなし。上記施設等の整備計画は平成16年度に検討

### 活用状況

(スケジュール・今後の展開予定)

活用事例の計画・整備、開始時期、今後の展開予定等

基本構想：平成15年度策定（3月末）

推進計画：平成16年度策定 基本構想に含まれる事業等の総括的なフォローアップ

個別事業：各事業主体により順次整備計画等を策定、推進

(事業)

活用事例に適用されている事業

国直轄事業（山東PA整備）

国庫補助事業（埋蔵文化財センター等）

県単独事業（構想・推進計画の策定等）

## その他

### (関係主体)

計画や実施に際して不可欠な主体、特に地域住民団体、NPO組織、業界団体、民間事業者の関わり

・地域住民の参画と協働を旨に、構想の策定段階から検討委員会の委員、地元でのワークショップ等を実施

・各施設等の整備段階で、整備後の運営等に住民等が参画できる手法を並行して検討

### 特徴

評価できる点、他事例にはないと考えられる特徴等

多自然型居住地域の典型地域の但馬にあって、恵まれた自然、環境、各種地域資源を有機的にネットワークするほか、古墳・山城等の歴史遺産、鉱山等の産業遺産に着目した新しい地域資源のネットワークを図ろうとしている。

また、このことが但馬地域の有力産業である観光産業の振興に寄与すると考えられる。

### 図版・写真等



茶すり山古墳：<http://www.hyogo-c.ed.jp/~maibun-bo/report/14/tyasuri/tyasuri.htm>

### 担当(紹介)部署

兵庫県但馬県民局企画調整部企画担当

## 石川県 鹿島町 能登歴史公園（石動山地区）整備による寺院遺構等の保全

### 位置

生活圏域名、市町村名、市町村における地区名等

石川県鹿島郡鹿島町石動山<sup>せきどうさん</sup>

### 緑地資源の概要

活用緑地資源の名称、種類や規模等

名称	都市公園（広域公園）
種類	史跡の活用
規模	約 41.3ha

### 活用の目的等

活用事例の背景、目的等の概要

（背景）

古来より日本海を舞台に大陸と交流のあった能登半島の七尾鹿島地域に散在する歴史的・風土的に特色のある文化遺産や豊かな自然を保全活用し、地域の活性化を目的とする「能登風土記の郷構想」（七尾鹿島地域1市6町）の推進計画の具現化。

S63 石川県長期ビジョンの計画内容に盛り込まれる。

H9年5月「能登風土記の郷構想」の基本構想の地域指定（文化庁・国土交通省連携・協力事業）

H10年3月「文化財を活かしたモデル地域づくり」推進計画の承認（同上連携・協力事業）

（目的）

「能登風土記の郷構想」の整備計画において、位置付けられた史跡群の中核施設となる都市公園整備を行い、市町村整備の史跡公園とネットワーク化し、自然景観や史跡等の関連施設との一体的利用を図る広域型の公園整備を行う。

### 主な施設

活用事例において整備された施設、既存施設、また計画施設等

能登歴史公園（石動山地区）は、古代から近世まで、山岳信仰の霊山として栄え、寺院跡等の数多くの遺構が残る石動山（国指定史跡約351ha）の約41.3haを周辺の文化財施設と一体となった都市公園整備を行う。

【遺構修景ゾーン】約9.5ha

遺構広場（18箇所 A=19,500 m<sup>2</sup>）、歴史の道（W=1.5～3m）、資料館、休憩所、駐車場他

【自然活用ゾーン】約13.8ha

遺構広場（10箇所 A=3,000 m<sup>2</sup>）、歴史の道、薬草薬木園、湿地ビオトープ、林間広場他

## 活用状況

(スケジュール・今後の展開予定)

活用事例の計画・整備、開始時期、今後の展開予定等

周辺の文化財復元施設「大宮坊」の本格供用にあわせ、平成 15 年 10 月 10 日に約 5.9ha を開設しており、引き続き 16 年度から自然活用ゾーン整備に着手し、平成 21 年度の完成を目指すこととしている。

(事業)

活用事例に適用されている事業

都市公園整備事業(国土交通省・県)

地方拠点史跡等総合整備事業(文化庁・県・町)

(関係主体)

計画や実施に際して不可欠な主体、特に地域住民団体、NPO組織、業界団体、民間事業者の関わり

地域の活性化と施設の有効活用を図るため、行政関係部局と郷土史会、石動山を護る会、いするぎガイド等の民間団体と連携し、各種の集いやイベント活動のPRに努め発展的に観光・交流事業の定着化を図る予定。

## 図版・写真等



石川県営都市公園探索マップ

<http://www.pref.ishikawa.jp/kouen/map/park/hakusanroku/index.html>

担当(紹介)部署

石川県土木部公園緑地課

## 福井県 福井市 一乗谷朝倉氏遺跡の発掘整備と活用

### 位置

生活圏域名、市町村名、市町村における地区名等

福井市城戸ノ内町

### 緑地資源の概要

活用緑地資源の名称、種類や規模等

名称	特別史跡 一乗谷朝倉氏遺跡
種類	文化財
規模	特別史跡指定区域 278ha

### 活用の目的等

活用事例の背景、目的等の概要

<p>(背景)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・昭和 42 年から発掘調査開始（史跡 一乗谷朝倉氏遺跡附南陽寺跡）</li><li>・昭和 46 年特別史跡に格上げ指定「一乗谷朝倉氏遺跡」面積 278ha</li><li>・地元住民は遺跡保護の観点から土地改良事業を断念し、昭和 47 年に社団法人朝倉氏遺跡保存協会を設立</li><li>・発掘・環境整備は福井県、用地取得・遺跡管理は福井市という役割分担</li></ul> <p>(目的)</p> <p>日本を代表する戦国時代の城下町として発掘調査・研究に基づいた復原整備を行い、見学者に「生きた歴史体験の場」を提供するとともに、遺跡保存を前提とした観光資源としての活用により地域の活性化を図る。</p>
--

### 主な施設

活用事例において整備された施設、既存施設、また計画施設等

福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館（昭和 56 年）
福井市史跡公園センター（昭和 58 年）
福井市一乗谷朝倉氏遺跡復原町並（平成 7 年）
朝倉歴史の道遊歩道（平成 15 年）

### 活用状況

(スケジュール・今後の展開予定)

活用事例の計画・整備、開始時期、今後の展開予定等

<ul style="list-style-type: none"><li>・発掘整備については昭和 42 年から開始、平成 17 年度から早期復原を目指した新たな 10 か年計画により進捗を図る予定</li><li>・観光活用については平成 16 年度から地元・民間・行政が一体となった協議会により見学者の利便性向上等の事業を実施予定</li></ul>
--

(事業)

活用事例に適用されている事業

- 一乗谷朝倉氏遺跡発掘調査・環境整備事業
- 一乗谷朝倉氏遺跡活用推進事業 他

(関係主体)

計画や実施に際して不可欠な主体、特に地域住民団体、NPO組織、業界団体、民間事業者の関わり  
福井市(遺跡の管理団体)

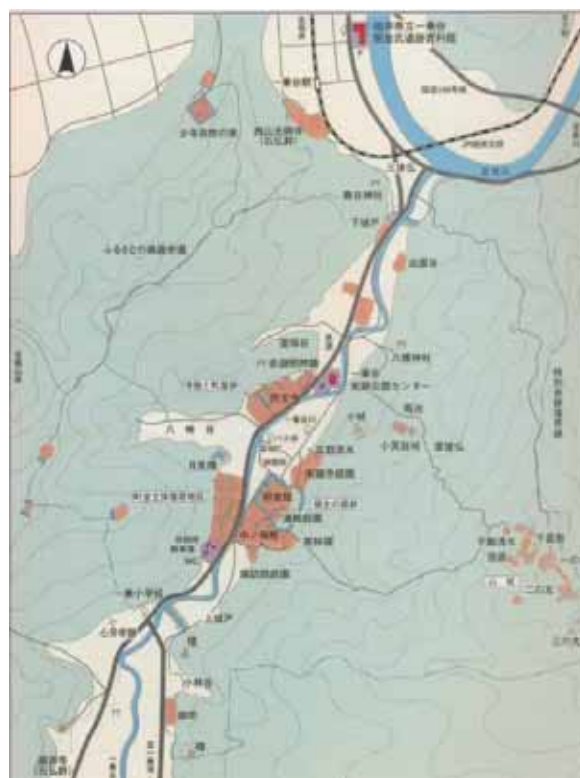
(社)朝倉氏遺跡保存協会(遺跡内での物品販売、ガイド、イベント実施等)

特徴

評価できる点、他事例にはないと考えられる特徴等

- ・地元住民、県、市がそれぞれの役割を分担し、協力関係の下に遺跡の発掘整備・活用を推進
- ・特に地元住民による(社)朝倉氏遺跡保存協会は遺跡の案内、美化活動、戦国まつりなどのイベント実施等により遺跡の保存活用に大きな役割を果たしている。

図版・写真等



福井市ホームページ：<http://www.city.fukui.fukui.jp/kankou/guide/ichijyoudani/index.html>

担当(紹介)部署

福井県教育庁文化課

## 秋田県 角館町 武家屋敷の保全と活用における住民によるまちづくり活動

### 位置

生活圏域名、市町村名、市町村における地区名等

青森県角館町

### 緑地資源の概要

活用緑地資源の名称、種類や規模等

名称	武家屋敷の街並み・サクラ並木
種類	重要伝統的建造物群保存地区・天然記念物指定
規模	

### 活用の目的等

活用事例の背景、目的等の概要

#### (背景)

現在の町原形は、約 380 年前、この地方を領していた芦名義勝によって造られ、その後は佐竹北家の城下町として発展した。町並みは京都のように南北に長く東西に短く、佐竹北家は公家の血をひいていることから、角館にはみちのくの風情の中に京をしのぶものが色濃く残っている。タイムスリップしたような武家屋敷、寄り添うように四季折々を彩る枝垂桜、商家の土蔵、伝統の樺細工、秋祭りなど、角館は、歴史的な景観を保存し、歴史の鼓動を伝えつづける町である。

角館は「武家屋敷のまち」と呼ばれるように、武家町に多くの武家屋敷が保存されている。この一帯は、国指定の重要伝統的建造物保存地区に指定されており、6つの武家屋敷が一般に公開されている。武家町の南側に位置する商人町も藩政時代の名残をとどめている。角館町は武家屋敷の並ぶ内町と商人町の外町が区割りされ、「みちのくの小京都」として多くの観光客が訪れるが、観光客を商人町へいかに誘導するかが課題だった。そこで「観光客に楽しんでもらえる」活動をと、商家の座敷や蔵まで案内する「外町案内人」を設けたり、春と秋の観光シーズンには「人力車」を、冬には「馬そり」を走らせた。

#### (目的)

ふるさと創生事業を契機として設置されたワーキンググループを母体として、観光や商工業の振興を図るため設立された「企画集団トライアングル」によって「かくのだて歴史案内人組合」は設立された。

また、現在は雅楽演奏会・行進、英語日本語劇の公演、周辺地域の地域づくりグループとの「秋田まるごと鍋合戦」などを展開している。

### 活用状況

(スケジュール・今後の展開予定)

活用事例の計画・整備、開始時期、今後の展開予定等

以降、以下のような活動を繰り広げてきた。

- ニジマスのつかみ取りと夢灯り (H7～H9)
- 外町案内人 (H7～□H8から歴史案内人組合として起業)
- 人力車の運行 (H7～□H9からJRアトリスが事業化)

- 馬そりの運行（H7～H8）
- 夜の武家屋敷の活用（H7～）
- 旅の思い出帳と周辺地域づくりグループとのネットワーク

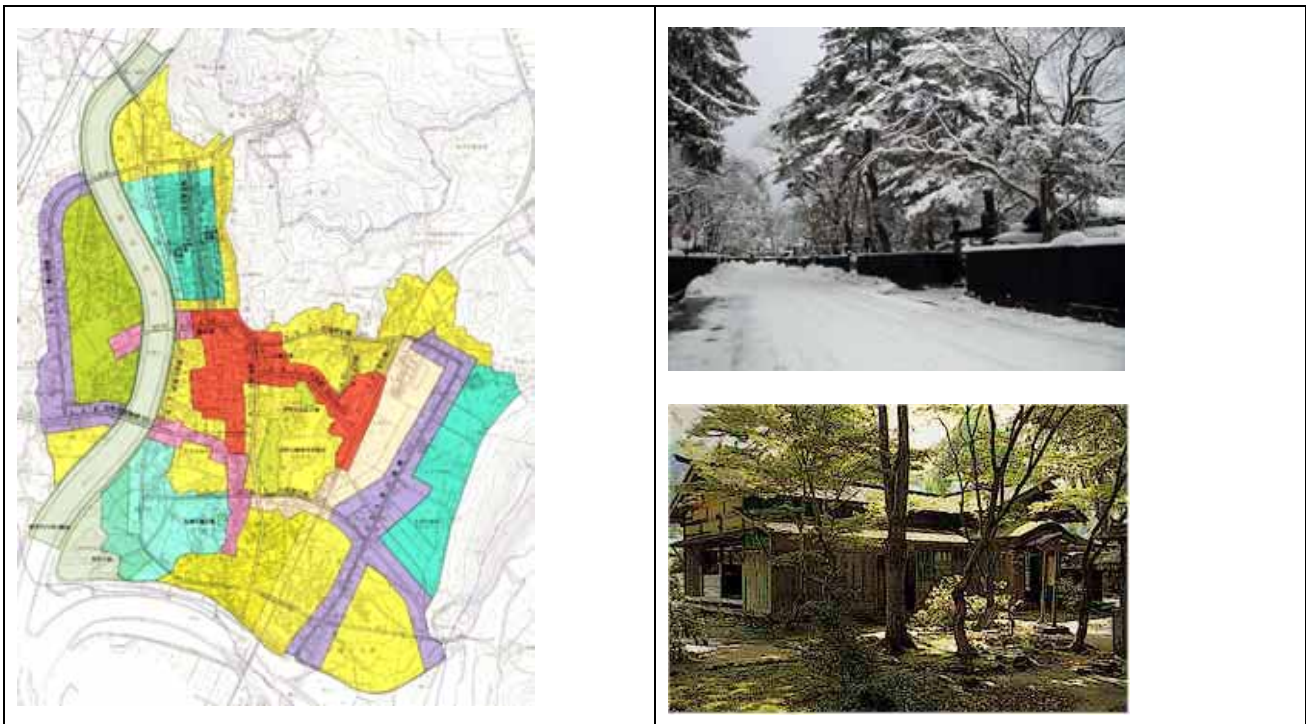
### 特徴

評価できる点、他事例にはないと考えられる特徴等

「かくのだて歴史案内人組合」は、平成14年までに28,500名以上の観光客を案内し、平成8年は約1,600名であったのが、秋田新幹線が開通した平成9年には約3,600名に、そして平成14年には約6,200名と増加してきている。設立当初の年間目標3,600名ははるかに越えている。

こうした、住民の自発的で積極的な取り組みは、例えば町内のタクシー協会において、運転手を対象に、町の歴史やまちづくりなどについての講習会を年に1回以上開催し、観光客に紹介するための勉強会を実施する、タクシー運転手への勉強会などへと波及するなど、資源の価値に劣らない活動を繰り返し広げている。

### 図版・写真等



担当（紹介）部署

角館町



## 富山県 平村・上平村 世界文化遺産五箇山合掌造り集落の保全

### 位置

生活圏域名、市町村名、市町村における地区名等

富山県平村相倉、上平村菅沼

### 緑地資源の概要

活用緑地資源の名称、種類や規模等

名称	国指定史跡越中五箇山相倉集落、同越中五箇山菅沼集落
種類	史跡
規模	相倉集落：42ha 菅沼集落：11ha

### 活用の目的等

活用事例の背景、目的等の概要

(背景)

- 1 国指定史跡であり世界遺産(文化遺産)でもある五箇山の合掌造り集落(平村の相倉集落と上平村の菅沼集落)の保存を行う。
- 2 相倉集落(20棟)と菅沼集落(9棟)の合掌造り建物は茅葺であり、概ね15年間隔で葺き替えが必要なことから、定期的に葺き替え等の保存修理を行う。

(目的)

- 1 史跡の保存に万全を期し、住民が安心して生活でき、さらに、訪れた方々が合掌造り建物のすばらしさを実感できるよう実施
- 2 さらに、背後のブナ林をなだれ防止林(雪持ち林)として保全

### 活用状況

(スケジュール・今後の展開予定)

活用事例の計画・整備、開始時期、今後の展開予定等

平村の相倉集落と上平村の菅沼集落の2地区ともに、毎年、概ね3棟程度の合掌造り建物の茅葺き替えの計画で推進する。

(事業)

活用事例に適用されている事業

越中五箇山相倉集落保存修理事業、越中五箇山菅沼集落保存修理事業

(関係主体)

計画や実施に際して不可欠な主体、特に地域住民団体、NPO組織、業界団体、民間事業者の関わり

事業主体 平村、上平村

特徴

評価できる点、他事例にはないと考えられる特徴等

世界遺産として合掌造り集落の景観を保存継承し、あわせて建物の周囲の棚田や雪持ち林の保全を行う。

図版・写真等



平村相倉地区



上平村菅沼地区

<http://www.pref.toyama.jp/sections/3007/heritage/gokayama.html>

担当(紹介)部署

富山県教育委員会文化財課

富山県 平村・上平村 世界文化遺産五箇山合掌造り集落を活用したグリーンツーリズム

位置

実施位置、生活圏域名、市町村名、市町村における地区名等

富山県東砺波郡 平村相倉 上平村菅沼
--------------------

緑地資源の概要

活用緑地資源の名称、種類や規模等

名称	世界遺産 五箇山
種類	合掌造り集落
規模	相倉集落 24棟合掌造り家屋 菅沼集落 9棟合掌造り家屋

活用の目的等

活用事例の背景、目的等の概要

<p>(背景)</p> <p>五箇山地域は、世界遺産に登録された合掌造り集落があり、古くから祭りや民謡が盛んな地域で、有形、無形の伝統文化が数多く残されている。また、世界演劇祭、五箇山和紙まつり、お小夜祭りなど、地域の伝統を活かした祭に加え、交流をテーマにした新たなイベントも数多く実施されている。しかし、就業機会の不足、生活基盤の未整備などから人口が流出から過疎化と高齢化が顕著であり、集落機能の維持や国土・環境の保全など多面的機能の維持にも大きな支障が生じることが懸念されている。</p> <p>(目的)</p> <p>平成8年度に「中山間地域活性化構想」を策定し、「平家伝説がいざなうロマン回廊、越中五箇山合掌のふる里」をキャッチフレーズに掲げ、生産基盤の整備による定住人口の確保や五箇山地域の自然・伝統文化などを活かした特産品の開発、交流施設を活用した交流人口の拡大を推進している。また、平成11年度に五箇山グリーンツーリズム推進協議会で「五箇山グリーンツーリズム(山を楽しくする5ヶ年計画)」を策定し、観光と農林業と連携した具体的な取り組みを進めている。</p>
--

主な施設

活用事例において整備された施設、既存施設、また計画施設等

農業集落道(景観舗装)	相倉集落	2,800m	農道(景観舗装)	菅沼集落	420m
農業集落防災安全施設	スノーシェルター	菅沼集落	コンクリートアーチ型		81m
	防火施設	相倉集落	ダクタイル鑄鉄管		3,500m、放水銃
		菅沼集落	ダクタイル鑄鉄管		954m、放水銃

活用状況

(スケジュール・今後の展開予定)

活用事例の計画・整備、開始時期、今後の展開予定等

中山間地域等総合振興対策 五箇山地域振興アクションプラン 平成14年度～平成18年度 ・平成8年度から中山間地域総合整備基本構想により、平村、上平村、利賀村に跨る地域において、中
--

山間地域総合整備事業(広域連携型)を着工し、平成 15 年度完了予定である。今後、地域住民や集落、関係団体が一体となって、都市農村交流対策事業等により五箇三村の広域的なグリーンツーリズム等をととして構想の実現に向けて取り組むこととしている。

(事業)

活用事例に適用されている事業

- ・ 中山間地域総合整備事業 広域連携型 五箇山地区 工期平成 8 年度～平成 15 年度
- ・ 特定農山村総合支援事業 平村、上平村、利賀村 工期平成 11 年度～平成 16 年度

(関係主体)

計画や実施に際して不可欠な主体、特に地域住民団体、NPO組織、業界団体、民間事業者の関わり

- ・ 五箇山地区中山間活性化検討委員会(村長、土地改良協議会、地区区長、合掌集落保存団体)
- ・ 五箇山地区企画戦略会議(JA、森林組合、観光協会)
- ・ 五箇山グリーンツーリズム推進協議会(農業委員会、森林組合、観光協会、民宿、JA、商工会)

特徴

評価できる点、他事例にはないと考えられる特徴等

都市農村交流の取り組み

- ・ 平成 13 年度に県は、「とやまグリーンツーリズム推進プラン」を策定し、自然景観、世界遺産の合掌集落、郷土芸能・食文化等の伝統文化等を活用し、拠点となる交流施設整備と約 40 軒の農家民宿が共存する総合的な取り組みが行われている。
- ・ また、議員提案による「都市との交流による農山漁村地域の活性化に関する条例」が制定され、東海北陸自動車道の全線開通をにらみ、農業体験を取り入れた交流人口拡大方策を推進している。
- ・ 平村・上平村・利賀村をもっと楽しむ特集ペーパー「ZOOM ZOOM GOKAYAMA(ずんずん 五箇山)」を作成して、宿泊から食べる・遊ぶ・特産品などの情報提供している。

図版・写真等



五箇山グリーンツーリズム推進協議会 <http://www.gokayama-gt.com>

担当(紹介)部署

富山県農林水産部農村環境課

## 富山県 利賀村 合掌づくり家屋を活用した利賀芸術公園における舞台芸術の創造と振興

### 位置

生活圏域名、市町村名、市町村における地区名等

利賀村

### 緑地資源の概要

活用緑地資源の名称、種類や規模等

名称	富山県利賀芸術公園
種類	
規模	約 63,000 m <sup>2</sup>

### 活用の目的等

活用事例の背景、目的等の概要

#### (背景)

1973年、利賀村が村内合掌家屋を移設し「利賀合掌文化村」を創設。1976年、早稲田小劇場(現 劇団 SCOTT)が入村し演劇活動を開始。以後、過疎の進む山村の自然と合掌家屋を舞台に世界演劇祭等を開催。

#### (目的)

舞台芸術その他の芸術文化の創造と振興を図るとともに、県民が芸術文化に親しみ、関心を深める機会を提供する。

### 主な施設

活用事例において整備された施設、既存施設、また計画施設等

村内合掌家屋の移築、利賀山房(合掌づくりの劇場)、野外劇場、利賀スタジオ、新利賀山房

### 活用状況

#### (スケジュール・今後の展開予定)

活用事例の計画・整備、開始時期、今後の展開予定等

15年度 利賀フェスティバル、サマー・アーツ・プログラム等を開催

16年度以降 「演劇の利賀」として世界へ発信し、注目された成果を踏まえ、富山県の舞台芸術の拠点として更なる発展を目指す

#### (関係主体)

計画や実施に際して不可欠な主体、特に地域住民団体、NPO組織、業界団体、民間事業者の関わり

富山県、利賀村、(財)富山県文化振興財団、(財)舞台芸術財団演劇人会議、(有)SCOTT

## 特徴

評価できる点、他事例にはないと考えられる特徴等

過疎化の進行が顕著な山村の豊かな自然や合掌家屋等の伝統文化を拠点として舞台芸術活動が展開され、世界に「演劇の利賀」として認知されるとともに、交流人口の飛躍的な増大がもたらされている。

また、このことが、住民の定住の拠り所のひとつになるとともに、Iターン、Jターン等の受け入れにつながるなど、地域に活性化をもたらしている。

## 図版・写真等



<http://www1.tst.ne.jp/togapk/><http://www1.tst.ne.jp/togapk/>

## 担当（紹介）部署

富山県生活環境部生活文化課

## 富山県 平村・城端町 平の祭（「五箇山麦屋まつり」「こきりこ祭り」）及び城端むぎや祭

### 位置

生活圏域名、市町村名、市町村における地区名等

平村及び城端町

### 緑地資源の概要

活用緑地資源の名称、種類や規模等

名称	地域内の寺社境内
種類	
規模	

### 活用の目的等

活用事例の背景、目的等の概要

（背景・目的）

「麦屋」や「こきりこ」は、五箇山や城端町の歴史・文化を代表する伝統芸能であるが、今日、地域の重要な観光資源として活用され、毎年開催されている「麦屋祭」「こきりこ祭」には、県内外から多くの観光客が訪れている。

### 平の祭

五箇山麦屋まつり...平村下梨地主神社

こきりこ祭り ...平村上梨白山宮境内

城端むぎや祭 ...城端別院善徳寺境内

（関係主体）

計画や実施に際して不可欠な主体、特に地域住民団体、NPO組織、業界団体、民間事業者の関わり

事業は、町・村及び各観光協会が中心となり、地域の経済界等の協賛を得ながら実施。

県内外への広報・誘客について県、県観光連盟等が支援している。

### 特徴

評価できる点、他事例にはないと考えられる特徴等

いずれも地域の神社や寺院の境内や町並みを背景に開催され、地域の歴史や景観と一体となった情緒が多くの観光客の関心を集め、県を代表する祭として定着している。



平村 麦屋節



平村 こきりこ唄



城端町 むぎや祭

平 村：<http://www.vill.taira.toyama.jp> 城端町：<http://www.town.johana.toyama.jp>

担当（紹介）部署

富山県商工労働部観光課



## 福井県 上中町 熊川宿の町並みを活かしたまちづくり

位置 生活圏域名、市町村名、市町村における地区名等

福井県遠敷郡上中町熊川

緑地資源の概要 活用緑地資源の名称、種類や規模等

名称	重要伝統的建造物群保存地区 上中町熊川宿
種類	文化財
規模	

活用の目的等 活用事例の背景、目的等の概要

(背景及び目的)

平成8年の重要伝統的建造物群保存地区選定を受け、保存地区の特性、歴史的風致の維持のために必要な建築物等の修理、修景を行うとともに、地元の若狭熊川宿まちづくり特別委員会を中心に町並みを活かしたまちづくりを実施

主な施設

活用事例において整備された施設、既存施設、また計画施設等

- ・若狭鯖街道熊川宿資料館「宿場館」：昭和15年に熊川村役場として建築された建物を利用、鯖街道の歴史を物語る拠点として整備
- ・旧逸見勘兵衛家住宅：平成7年に町指定文化財、町並み保存と住民の生活を両立させるためのモデルハウスとして、土日の週末のみ一般公開
- ・熊川番所：重要伝統的建造物群保存地区内に元の位置のまま現存する全国唯一の貴重な歴史的建造物として復元整備

活用状況

(スケジュール・今後の展開予定)

活用事例の計画・整備、開始時期、今後の展開予定等

- ・平成11年中ノ町景観整備完了(電線地中化、地道風舗装、石積護岸等)
- ・今後、下ノ町、上ノ町の順に景観整備予定

(事業)

活用事例に適用されている事業

重要伝統的建造物群保存地区整備事業補助金

(関係主体)

計画や実施に際して不可欠な主体、特に地域住民団体、NPO組織、業界団体、民間事業者の関わり

上中町。若狭熊川宿まちづくり特別委員会(町並み通信「鯖街道熊川宿」の発行、語り部(ガイド)の養成、旧逸見勘兵衛家での蔓細工等の販売)

特徴

評価できる点、他事例にはないと考えられる特徴等

町並み保存と住民の生活の両立、地元保存協会によるてっせん踊りの復興、イベント「熊川いっづく時代村」の開催

図版・写真等



旧逸見勘兵衛家



中ノ町（景観整備済）



下ノ町（景観整備実施予定）



上ノ町（景観整備実施予定）



上中町ホームページ：<http://www.town.kaminaka.fukui.jp/kumagawa/>

担当（紹介）部署

福井県教育庁文化課

## 山口県 萩市 堀内・平安古・浜崎地区における景観の保全と活用

### 位置

生活圏域名、市町村名、市町村における地区名等

萩市 堀内・平安古・浜崎地区

### 緑地資源の概要

活用緑地資源の概要についてご記入ください。緑地資源の名称、種類や規模等

名称	重要伝統的建造物群保存地区 堀内・平安古・浜崎地区
種類	地域の文化資源
規模	

### 活用の目的等

活用事例の背景、目的等の概要

(背景・目的)

重要伝統的建造物群保存地区 堀内・平安古・浜崎地区 保存修理事業

重要伝統的建造物群保存地区に選定されている萩市堀内・平安古・浜崎地区において、歴史的・伝統的景観を保存・整備するため、建造物等の修理・修景事業を実施。

まちづくりイベント「浜崎おたから博物館」

浜崎地区においては、浜崎地区に残る「お宝」を観光客にみてもらい、買い物やまちの散策を楽しんでもらうため、住民によるまちづくりイベント「浜崎おたから博物館」を毎年実施。

### 主な施設

活用事例において整備された施設、既存施設、また計画施設等

平成15年度は地区内の民家・神社・土塀など5件の修理・修景を実施

### 活用状況

(スケジュール・今後の展開予定)

活用事例の計画・整備、開始時期、今後の展開予定等

とも毎年継続的に実施予定

(事業)

活用事例に適用されている事業

国宝重要文化財等保存整備事業(国庫補助)・文化財保護事業(県補助)

(関係主体)

計画や実施に際して不可欠な主体、特に地域住民団体、NPO組織、業界団体、民間事業者の関わり

浜崎しっちゃん会は、平成9年に地区の有志によるまちづくり研究会としてスタートし、平成10年に正式に発足し、それ以来まちづくりイベント「浜崎おたから博物館」を毎年開催している。

特徴

評価できる点、他事例にはないと考えられる特徴等

萩市の取り組みは、重要伝統的建造物群保存地区制度の導入を促進した先進的取り組みであり、現在は、伝統的景観の保全から、観光の振興、市民が主体となった地域づくりへと展開している。

図版・写真等



堀内地区



平安古地区



浜崎地区



<http://www.city.hagi.yamaguchi.jp/portal/event/spring/hamasaki.html>

担当（紹介）部署

（担当）萩市建設部 まちなみ対策課 担当者

電話0838-25-3238

（紹介）山口県教育庁文化財保護課 担当者山崎

電話083-933-4655

## 山口県 萩市 萩開府400年記念事業

### 位置

生活圏域名、市町村名、市町村における地区名等

萩市

### 緑地資源の概要

活用緑地資源の名称、種類や規模等

名称	国史跡萩城跡・同萩城城下町・同旧萩藩校明倫館
種類	地域の文化資源
規模	

### 活用の目的等

活用事例の背景、目的等の概要

#### (背景・目的)

萩市には、江戸時代に形成された城下町のたたずまいが、近世の都市遺産としてそのまま残っており、市内堀内・平安古・浜崎地区の重要伝統的建造物群保存地区をはじめ、歴史的景観保存地区など貴重な歴史・文化遺産が広く分布している。江戸時代当時の城下町絵図が今でも使えるまちであり、近世の都市遺産が点や線でなく面として残る全国でも数少ない城下町である。

2004年(平成16年)が、毛利氏による萩開府400年にあたることから、この年にあわせ、市内に所在する国指定文化財の整備事業を実施し、あわせて萩開府400年記念の各種イベントを行う。

### 主な施設

活用事例において整備された施設、既存施設、また計画施設等

国史跡萩城跡外堀の整備および北の惣門の復元事業  
国史跡萩城城下町内での旧久保田家建物(城下の代表的商家建物のひとつ)の整備復元  
国史跡旧萩藩校明倫館指定地内への明倫館南門の移築復元事業

### 活用状況

(スケジュール・今後の展開予定)

活用事例の計画・整備、開始時期、今後の展開予定等

国史跡萩城跡外堀の整備および北の惣門の復元事業  
・平成8～16年度(外堀整備は17年度以降も継続)  
国史跡萩城城下町内での旧久保田家建物の整備復元  
・平成10～16年度  
・資料の展示施設、観光客の休憩所として利用予定  
国史跡旧萩藩校明倫館指定地内への明倫館南門の移築復元事業  
・平成15～17年度

(事業)

活用事例に適用されている事業

国宝重要文化財等保存整備事業(国庫補助)  
文化財保護事業(県補助)

特徴

評価できる点、他事例にはないと考えられる特徴等

複数の指定文化財を対象とする大規模かつ総合的な整備事業の実施。

図版・写真等



萩開府 400 年特別月間 (平成 16 年 10 月 30 日 ~ 11 月 21 日)	
10 月 30 日(土)から 1 月 間	山口県立萩美術館・浦上記念館 萩開府 400 年記念陶芸展(仮称)
11 月 6 日(土) 7 日(日)	萩往還 1000 人ウォーク
11 月 10 日(水)	毛利輝元公銅像除幕式
11 月 11 日(木)	新博物館開館式
11 月 11 日(木)から 1 月 間	新博物館開館記念特別展 (仮称)「毛利輝元と萩開府」
11 月 14 日(日)	時代絵巻「萩時代大パレード」
11 月 21 日(日)	萩・城下町サミット

萩市HP [http://www.city.hagi.yamaguchi.jp/hagicity/hot/400nenkinen/400\\_index.html](http://www.city.hagi.yamaguchi.jp/hagicity/hot/400nenkinen/400_index.html)  
<http://www.city.hagi.yamaguchi.jp/portal/news/400/index.html>

担当(紹介)部署

(担当)萩市 建設部文化財保護課	担当者	電話083-25-3299
(紹介)山口県教育庁文化財保護課	担当者 山崎	電話083-933-4655

## 山形県 金山町 街並み（景観）づくり 100 年運動

### 位置

生活圏域名、市町村名、市町村における地区名等

金山町全域

### 緑地資源の概要

活用緑地資源の名称、種類や規模等

名称	金山町街並み景観条例（金山杉）
種類	全町美化運動
規模	161.79 km <sup>2</sup> （全町面積）

### 活用の目的等

活用事例の背景、目的等の概要

#### （背景）

文明開化の明治初期、東北を訪れた英国人旅行家イザベラ・バードが当時の金山を「険しい尾根を越えて、非常に美しい風変わりな盆地に入った。ピラミッド型の杉の林で覆われ、その麓に金山の町がある。ロマンチックな雰囲気のある場所である。」（日本奥地紀行の一節より）と記している。その昔、秋田を結ぶ羽州街道の宿場町であり、今でもところどころに往時の風情を感じさせる切妻屋根に木組みの柱と白壁、下見板張りといった木造住宅が続いている。そして町内全域に 80 年～200 年を超える人工林、「金山杉」が育成されている。しかし、近年必ずしも町の風土・環境になじまない家並みが目立ちはじめなど、ふるさとのよさが失われつつある。

#### （目的）

先人が伝えてくれた金山らしい文化・自然を生かし、地域経済の活性化を促しながら、街並み景観づくりを推進する。

### 主な施設

活用事例において整備された施設、既存施設、また計画施設

#### 【公共施設】

平成 7 年度 街並みづくり資料館（通称：蔵史館） 古い土蔵のリニューアル

平成 14 年度 交流サロンぽすと 特定郵便局舎の復元

#### 【個人住宅】

金山町街並み景観条例において、形成基準を定め、全町を対象に金山型住宅の普及を進めている。

### 活用状況

（スケジュール・今後の展開予定）

活用事例の計画・整備、開始時期、今後の展開予定等

昭和 60 年度 金山町街並み景観条例制定（街並み景観形成基準・景観形成助成金）

景観（町）づくりは終わりのない施策であり、時代のニーズを踏まえ、かつ、軸足を住民におきなが

ら推進するものである。(住民運動)

(関係主体)

計画や実施に際して不可欠な主体、特に地域住民団体、NPO組織、業界団体、民間事業者の関わり

主体は金山町。金山町街並み景観条例において街並み景観審議会を設置し、住民はもとより専門的な立場として東京藝術大学関係者から「専門委員」として指導を仰いでいる。

特徴

評価できる点、他事例にはないと考えられる特徴等

当町の景観づくりは「景観共有論 = 目にみえるものはみんなのもの」を前提に、住民が安全で安心して快適に過ごすための施策として推進しているものであり、よその人に見せるために整備しているものではない。にも関わらず、近年、当町を訪れる方々が増えてきた。結果的に観光に結びつきつつある。

図版・写真等



「金山杉」を活用した金山型住宅(切妻屋根に白壁)の町並み形成、石積水路の整備等豊かな自然景観と調和した町づくりを進めている。<http://www.vega.ne.jp/~kaneyama/top.htm>

担当(紹介)部署

山形県金山町建設課住宅景観係



## 新潟県 出雲崎町 海岸地区妻入りの街並み保全

### 緑地資源の概要

活用緑地資源の名称、種類や規模等

名称	出雲崎妻入りの街並み
種類	街並み景観
規模	44.38km <sup>2</sup> (町全体面積)

### 活用の目的等

活用事例の背景、目的等の概要

#### (背景)

当町の海岸地区は、江戸時代に佐渡金山の荷揚港であり、幕府直轄地「天領」として栄華を誇り、多くの人々が集まってきました。そこで、海と山に挟まれた狭いこの土地に多くの人々が居住できる「妻入り」の建築様式の住宅が発達し、全国的にも珍しい3.6kmもの街並みの景観を今に残しています。

しかし、過疎化と高齢化により空き家や老朽化住宅が増加している現状があり、街並み自体の存在も懸念されてきています。

#### (目的)

上記のような現実的な問題が進む中で、旧建設省の歴史国道の選定や新潟県の景観推進地区に指定されるなど、妻入りの街並みの希少性が取り沙汰され、この歴史ある街並みを保存・修景して後世に残そうという動きが始まり、地域住民を中心とした「出雲崎妻入りの街並み景観推進協議会」が設立されました。協議会活動はソフト事業を中心とした住民の意識啓蒙活動が主となっていて、海と山と歴史的街並みそれぞれが調和した美しい景観づくりを目指しています。

### 主な施設

活用事例において整備された施設、既存施設、また計画施設等

新潟県「ふるさと新潟の顔づくり事業」で景観整備された施設。

道路(カラー舗装、石張舗装)、ポケットパーク等公園整備、ストリートファニチャー<尼瀬地区>  
出雲崎町が街なみ環境整備事業(国庫補助)で、景観整備を計画している施設。

道路(カラー舗装、石張舗装)<尼瀬地区~井鼻地区>

協議会で景観整備したもの

道路(植栽プランター配付)

### 活用状況

(スケジュール・今後の展開予定)

活用事例の計画・整備、開始時期、今後の展開予定等

協議会は平成9年から以下の事業を実施し、以後もこれらの活動を実施予定。

- ・街並み調査、街並みマップ・パンフレット作成
- ・町内外への情報収集、配信
- ・緑化推進活動
- ・シンポジウム、講演・講習会の開催
- ・先進地視察
- ・会報誌の発刊
- ・景観修景活動(ストリートファニチャー)

出雲崎町は「海岸地区街なみ環境整備事業」により平成 14 年度～23 年度で整備予定。

- ・道路（カラー舗装、石張舗装）等生活環境施設整備

（事業）

活用事例に適用されている事業

- ・ふるさと新潟の顔づくり事業（平成 10、11 年度）＜新潟県＞
- ・歴史・文化継承住宅融資制度（平成 12 年～）＜住宅金融公庫＞
- ・海岸地区街なみ環境整備事業（平成 14 年度～23 年度（予定））＜出雲崎町 国庫補助事業＞

（関係主体）

計画や実施に際して不可欠な主体、特に地域住民団体、NPO 組織、業界団体、民間事業者の関わり

これからの整備主体は出雲崎町となる。しかし、道路などの景観をいくら整備しても街並み景観の中心は「妻入り住宅」であり、住宅の整備がなされなければ意味がなく、地域住民の理解と協力が絶対不可欠である。その中で街並み保存の活動をしている「出雲崎妻入りの街並景観推進協議会」は地域住民や商工会、町建築組合、建築士会など各種団体で構成されているため、住民の意見を反映しながら、多種多様な活動ができるのではないかと期待している。

また、長岡造形大学などと提携してより専門的な意見を集約し、活動に生かしている。

特徴

評価できる点、他事例にはないと考えられる特徴等

ソフト事業が中心の活動で、協議会活動費についてもそれほど多くない状態で、委員が意見を出し合い工夫して、色々な事業を発案・実施に取り組んでいる。

まだ、街並景観自体には大きな変化は表れていないが、協議会の緑化事業は、地域住民にも好評で以前は殺風景だった街並みに季節毎の草花が咲き、生活感のある空間に変わりつつある。

図版・写真等



担当（紹介）部署

新潟県土木部都市局都市政策課

## 福井県 武生市 蓬萊町地区街なみ環境整備

### 位置

生活圏域名、市町村名、市町村における地区名等

武生市蓬萊町地区

### 緑地資源の概要

活用緑地資源の名称、種類や規模等

名称	蓬萊町地区
種類	地域の文化資源の活用 武生市蓬萊町地区
規模	1.6ha

### 活用の目的等

活用事例の背景、目的等の概

#### (背景)

本地区はJR北陸本線武生駅より西へ約350mの徒歩圏内にあり、中心市街地の旧北国街道沿いに位置し、門前町として街道の中央に、まち用水と松並木が設けられた伝統ある商業地である。現在も蔵が残る街なみを形成しており、隣接地区と共に中心市街地を形成する地区である。地区内には、京屋風の木造の家並形態を残し、住宅と共に土蔵もあり、落ち着いた風情のある街なみを作り出しているが、これらが活かされていなかった。

#### (目的)

地区内の街なみや蔵を再生し、松並木、まち用水の整備と併せて市の顔の表情づくりを行い、親しみと愛着のもてるまちづくりと商業活性化を図り、良好な都市景観の形成に配慮し、建築物と調和した安全快適な歩行者空間の整備を図る。

### 主な施設

活用事例において整備された施設、既存施設、また計画施設等

コミュニティ通路 小公園 建物の修景整備

### 活用状況

#### (スケジュール・今後の展開予定)

活用事例の計画・整備、開始時期、今後の展開予定等

H7 街なみ環境整備方針策定	H8 街なみ環境整備事業計画策定
H9～H11 物件移転補償および用地買収	H10～H13 地区施設整備
H10～H14 修景施設整備	

#### (事業)

活用事例に適用されている事業

街なみ環境整備事業

### （関係主体）

計画や実施に際して不可欠な主体、特に地域住民団体、NPO組織、業界団体、民間事業者の関わり  
事業主体は武生市である。通路等の基盤整備を行政が、建物整備は住民が主体となり、相互の協力によ  
って景観形成が進められた。

### 特徴

評価できる点、他事例にはないと考えられる特徴等

- ・再開発事業から街なみ環境整備事業に転換したことで、本市の中心市街地の古い街なみの保存・活用  
が図られた。また、地区計画により、建物などの改修にあたっては、景観に配慮したものとなった。
- ・地区計画の決定、まちづくり協定の締結、地区内の公共施設の整備など、地元事業者や住民の協力と  
理解のもと、官民一体となって事業を推進した。官民一体となった事業推進により、地元の中心市街地  
の活性化に対する意識が向上した。
- ・この事業推進が認められ、市と地元協議会である「蓬莱地区再生推進協議会」が平成14年度におけ  
る国土交通省の都市景観大賞「美しいまちなみ大賞」を受賞した。
- ・地区内の中央に、市民や外来者の憩いの場として、さらに、各種イベントの会場としても利用できる  
「蔵の辻」を整備し、市の顔の表情づくりを行った。
- ・周囲に数多く密集する神社仏閣などの歴史的遺産や駅前との回遊性が図られるようになった。
- ・地元商店街をはじめ各市民団体などが、「蔵の辻」を中心としたイベントを開催するようになり、さ  
らに、他のイベントとも連携したイベントも開催されるようになり、徐々にではあるが人の賑わいも戻  
りつつある。
- ・商品の倉庫として、店舗の裏にあり、表正面から見えなかった蔵を、今回、店舗の裏、すなわち蔵側  
に通路を造ることで、蔵を正面に出した。それにより、蔵の活用が可能になり、新規出店者の誘致を図  
った。地区内の蔵を活用した、新規店舗の出店が図られた。

### 図版・写真等



中心市街地活性化推進室中心市街地活性化事例ページ：

<http://chushinshigaichi-go.jp/followup/H15/instance/243-1.htm>

### 担当（紹介）部署

武生市都市計画課（福井県土木部建築住宅課）

## 福井県 歴史の香る建造物保存・活用事業

### 位置

生活圏域名、市町村名、市町村における地区名等

福井県下全域

### 緑地資源の概要

活用緑地資源の名称、種類や規模等

名称	
種類	歴史的建造物
規模	

### 活用の目的等

活用事例の背景、目的等の概要

#### (背景)

県内には、地域の歴史・生活史を表現し、または地域の景観を形成している貴重な歴史的建造物が数多く存在するが、近年、これらの歴史的建造物が保存・活用の検討が行われないうまま消滅しつつある。

#### (目的)

地域の資源である歴史的建造物を保存・継承し、個性豊かで魅力あふれる地域社会を形成しようとする市町村の取り組みを促進するとともに、これらの取り組みを県下全域に拡大する。

### 主な施設

活用事例において整備された施設、既存施設、また計画施設等

岸名家（平成 15 年度整備中、坂井郡三国町）

明治殿（平成 16 年度整備計画、南条郡今庄町）

### 活用状況

#### (スケジュール・今後の展開予定)

活用事例の計画・整備、開始時期、今後の展開予定等

事業期間は、平成 15 ～ 19 年度

平成 15 年度は、三国町岸名家改修工事に補助

平成 16 年度に、歴史的建造物のデータベースを作成予定

平成 19 年度までに、歴史的建造物の保存・活用に関する県内 12 事業を支援予定

#### (事業)

活用事例に適用されている事業

歴史の香る建造物保存・活用事業

(関係主体)

計画や実施に際して不可欠な主体、特に地域住民団体、NPO組織、業界団体、民間事業者の関わり  
事業主体は、福井県内各市町村および地域づくり団体

特徴

評価できる点、他事例にはないと考えられる特徴等

文化財の指定が無い建造物であっても、地域住民が愛着をもっている歴史的建造物が数多く存在している。これらを保存・活用することで原形を損なう改修や除却を免れ、また、保存・活用気運の醸成を図ることができる。

図版・写真等



担当(紹介)部署

福井県土木部営繕課

## 兵庫県 出石町 景観形成地区 城下町地区

### 位置

生活圏域名、市町村名、市町村等

出石町

### 緑地資源の概要

活用緑地資源の名称、種類や規模等

名称	景観形成地区（出石町城下町地区）
種類	街並み（城下町、伝統的な町家風景）など
規模	

### 活用の目的等

活用事例の背景、目的等の概要

#### （背景）

出石の町は、数百年の歴史の流れの中で文化をはぐくみ、明治の大火で市街地の多くを消失しながらもなお数々の歴史的遺産を残し、それらが単に保存されているだけでなく、今なお地域住民の日常生活にとけ込み、城下町の風情を保ちながら歴史性豊かなしっとりと落ち着いた魅力ある町となっている。家屋の老朽化にともなう立て替えが進む現在、現代の生活機能を十分満たしながら、こうした歴史的な街並みを継承していくことのできる家屋の建て方が必要となってきた。

#### （目的）

伝統的な町家景観の継承を軸として地域の風土、歴史、伝統に根ざしたより魅力的なまち並みにしていくため、景観形成地区内で建築物等を建築、修繕、模様替えする際には、まち並み全体との調和に配慮し、城下町らしい落ち着いた風情の醸成を図る。

### 主な施設

活用事例において整備された施設、既存施設、また計画施設等

景観形成基準を定め、民間の方が、建築物や門または塀の新築、増改築または大規模な修繕を行うときに、適合するようにする。

### 活用状況

（スケジュール・今後の展開予定）

活用事例の計画・整備、開始時期、今後の展開予定等

昭和62年10月16日景観形成地区に指定

#### （事業）

景観形成地区等の地域を対象として、当該地域の良好な景観形成を推進するため、修景事業を行う県民等からの依頼に対応して、修景助成事業、修景支援事業を実施している。

(関係主体)

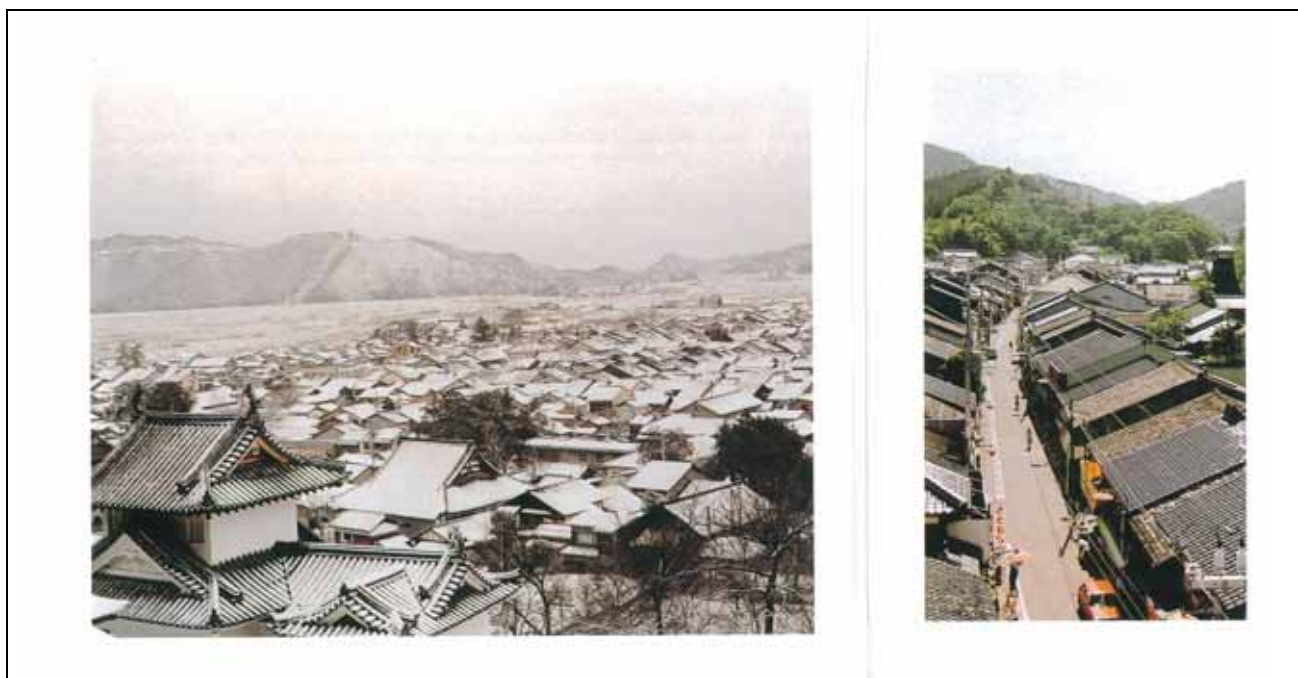
計画や実施に際して不可欠な主体、特に地域住民団体、NPO組織、業界団体、民間事業者の関わり指定地区内の住民が家屋の建て替え等にあたって、景観形成基準に沿って出石らしい景観を作り出している。

特徴

評価できる点、他事例にはないと考えられる特徴等

住まいは、様々な環境で暮らす「地域住民」の基本的な生活空間であると共に、都市の基盤整備と一体となって「まち」そのものを形づくっているため、地域住民と地域性を中心に考えた住まいづくり・まちづくりの推進を行う。

図版・写真等



担当(紹介)部署

但馬県民局県土整備部まちづくり担当



## 兵庫県 城崎町 景観形成地区 城崎温泉地区

### 位置

生活圏域名、市町村名、市町村における地区名等

城崎郡城崎町湯島

### 緑地資源の概要

活用緑地資源の名称、種類や規模等

名称	
種類	景観形成地区（温泉街、街並み、柳並木）
規模	

### 活用の目的等

活用事例の背景、目的等の概要

#### （背景）

城崎町は、1,400年の歴史をもち、多くの文人墨客が訪れた温泉地として、その名が全国に知られている。大谿川を中心に木造の2階建てや3階建ての旅館や店舗が建ち並び、周囲の自然と調和した街並みをつくっている。

#### （目的）

これらの木造建築は老朽化が進んでおり、今後立て替えや改修が進むことが予想される。こうした中でこれからの城崎温泉の進むべき方向を見定め、人々が育んできた歴史や伝統を継承しつつ、新たな城崎町の街並みを創造することが必要になってくる。

### 主な施設

活用事例において整備された施設、既存施設、また計画施設等

景観形成基準を定め、民間の方が、建築物や門または塀の新築、増改築または大規模な修繕を行うときに、適合するようにする。

### 活用状況

#### （スケジュール・今後の展開予定）

活用事例の計画・整備、開始時期、今後の展開予定等

平成4年8月11日景観形成地区に指定

#### （事業）

活用事例に適用されている事業

景観形成地区等の地域を対象として、当該地域の良好な景観形成を推進するため、修景事業を行う県民等からの依頼に対応して、修景助成事業、修景支援事業を実施している。

(関係主体)

計画や実施に際して不可欠な主体、特に地域住民団体、NPO組織、業界団体、民間事業者の関わり

指定地区内の住民が家屋の建て替え等にあたって、景観形成基準に沿って城崎温泉らしい景観を作り出している。

特徴

評価できる点、他事例にはないと考えられる特徴等

住まいは、様々な環境で暮らす「地域住民」の基本的な生活空間であると共に、都市の基盤整備と一体となって「まち」そのものを形づくっているため、地域住民と地域性を中心に考えた住まいづくり・まちづくりの推進を行う。

図版・写真等



担当(紹介)部署

担当：兵庫県県土整備部まちづくり局都市計画課都市景観係

(但馬県民局県土整備部参事(まちづくり担当)まちづくり課)

## 兵庫県 生野町 景観形成地区 口銀谷地区

### 位置

生活圏域名、市町村名、市町村における地区名等

朝来郡生野町口銀谷

### 緑地資源の概要

活用緑地資源の名称、種類や規模等

名称	
種類	景観形成地区（明治時代の街並み、洋館づくり）
規模	

### 活用の目的等

活用事例の背景、目的等の概要

#### （背景）

生野町のまちなみは、日本有数の銀山であったことから、各地から人々の往来により影響を受けたと考えられる出格子や洋風建築物、また、鉱山の精製過程で生じる鉱石のくずを固めた「カラミ石」を積んだよう壁、落ち着いた色合いを見せる赤瓦、歴史的建築物等が現存しており、市川に代表される自然と相まって美しい景観が作り出されている。

#### （目的）

先人達が育ててきた歴史や伝統文化を継承しつつ、住民にとって住民自らが愛着の持てるような新たな町づくりを視野に入れながら、保全と創造を図っていく。

### 主な施設

活用事例において整備された施設、既存施設、また計画施設等

景観形成基準を定め、民間の方が、建築物や門または塀の新築、増改築または大規模な修繕を行うときに、適合するようにする。

### 活用状況

（スケジュール・今後の展開予定）

活用事例の計画・整備、開始時期、今後の展開予定等

平成10年3月26日景観形成地区に指定

#### （事業）

活用事例に適用されている事業

景観形成地区等の地域を対象として、当該地域の良好な景観形成を推進するため、修景事業を行う県民等からの依頼に対応して、修景助成事業、修景支援事業を実施している。

(関係主体)

計画や実施に際して不可欠な主体、特に地域住民団体、NPO組織、業界団体、民間事業者の関わり

指定地区内の住民が家屋の建て替え等にあたって、景観形成基準に沿って地域に適合した景観を作り出している。

特徴

評価できる点、他事例にはないと考えられる特徴等

住まいは、様々な環境で暮らす「地域住民」の基本的な生活空間であると共に、都市の基盤整備と一体となって「まち」そのものを形づくっているため、地域住民と地域性を中心に考えた住まいづくり・まちづくりの推進を行う。

図版・写真等



担当(紹介)部署

担当：兵庫県県土整備部まちづくり局都市計画課都市景観係

(但馬県民局県土整備部参事(まちづくり担当)まちづくり課)

## 兵庫県 和田山町 景観形成地区 竹田地区

### 位置

生活圏域名、市町村名、市町村における地区名等

朝来郡和田山町竹田

### 緑地資源の概要

活用緑地資源の名称、種類や規模等

名称	
種類	景観形成地区（城下町、街道筋、街並み）
規模	

### 活用の目的等

活用事例の背景、目的等の概要

#### （背景）

古くから交通の要衝として栄え、現在も但馬の玄関口として、国道や県道が縦横に走るほか、町の中心部にあるＪＲ和田山駅は、ＪＲ山陰本線と播但線が結節する駅として多くの利用者がある。こうした交通拠点としての顔を持つ一方で、和田山町は豊かな自然を背景に、歴史と風土にはぐくまれた文化を培ってきたところである。

#### （目的）

蓄積された昔ながらの景観を保全、継承すると共に、これからの高齢社会における快適な住機能を備えたまちづくりを進め“古（いにしえ）”と“未来”が共存する新たな景観形成を図る。

### 主な施設

活用事例において整備された施設、既存施設、また計画施設等

景観形成基準を定め、民間の方が、建築物や門または塀の新築、増改築または大規模な修繕を行うときに、適合するようにする。

### 活用状況

#### （スケジュール・今後の展開予定）

活用事例の計画・整備、開始時期、今後の展開予定等

平成10年11月27日景観形成地区に指定

#### （事業）

活用事例に適用されている事業

景観形成地区等の地域を対象として、当該地域の良好な景観形成を推進するため、修景事業を行う県民等からの依頼に対応して、修景助成事業、修景支援事業を実施している。

(関係主体)

計画や実施に際して不可欠な主体、特に地域住民団体、NPO組織、業界団体、民間事業者の関わり

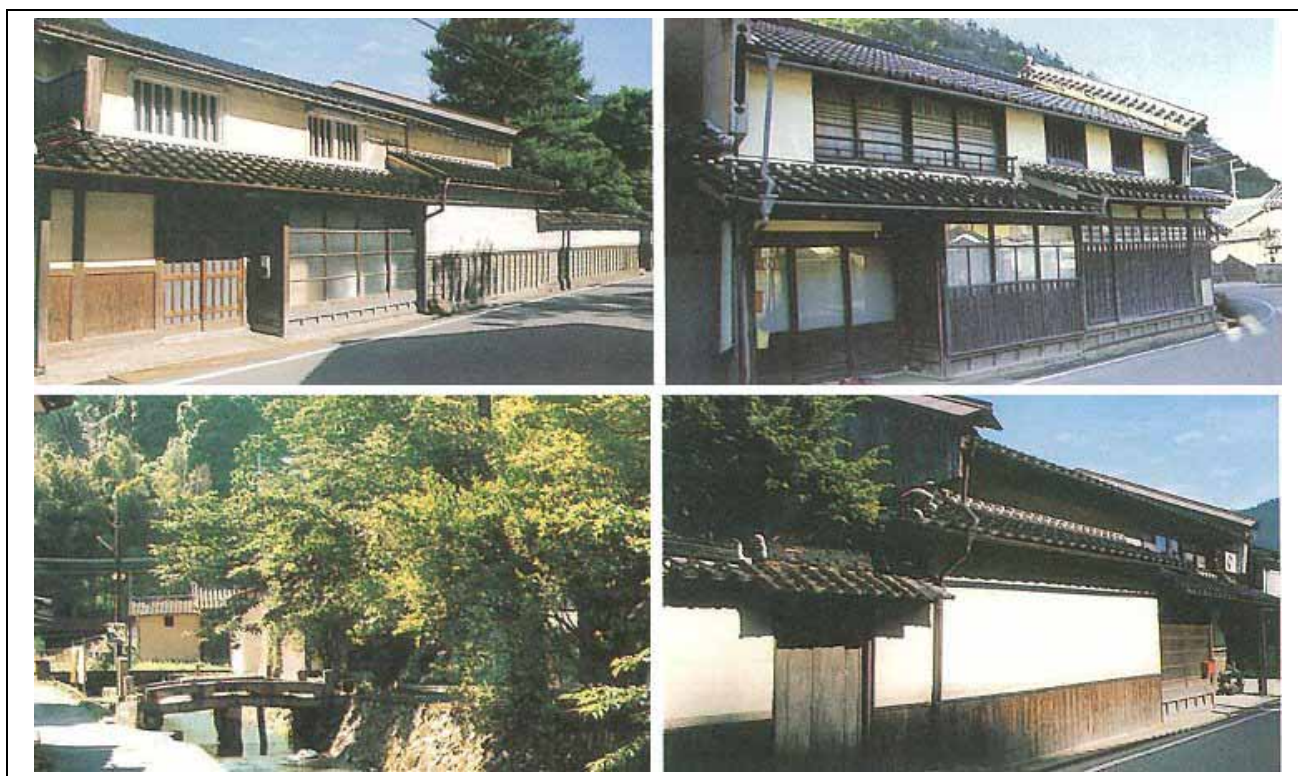
指定地区内の住民が家屋の建て替え等にあたって、景観形成基準に沿って地域に適合した景観を作り出している。

特徴

評価できる点、他事例にはないと考えられる特徴等

住まいは、様々な環境で暮らす「地域住民」の基本的な生活空間であると共に、都市の基盤整備と一体となって「まち」そのものを形づくっているため、地域住民と地域性を中心に考えた住まいづくり・まちづくりの推進を行う。

図版・写真等



担当(紹介)部署

担当：兵庫県県土整備部まちづくり局都市計画課都市景観係

(但馬県民局県土整備部参事(まちづくり担当)まちづくり課)

## 兵庫県 大屋町 景観形成地区 大杉地区

### 位置

生活圏域名、市町村名、市町村における地区名等

養父郡大屋町大杉地区

### 緑地資源の概要

活用緑地資源の名称、種類や規模等

名称	
種類	景観形成地区（養蚕家屋の街並み）
規模	

### 活用の目的等

活用事例の背景、目的等の概要

#### （背景）

大杉地区は大屋町の中でもっとも多く養蚕住宅およびそれに近い様式の建物が残された地区である。しかし、生活様式の変化などによって伝統的な集落景観が失われるおそれがあり、その保全と創造を図る必要がある。

#### （目的）

豊かな自然と養蚕住宅の特徴を持つ民家などがよく保全されている集落と、その集落を守るようにたずむ二宮神社とその森とが全体として調和しており、人々の営みと自然とが融合した歴史的、特徴的な集落景観の保全と創造を進めながら、さらに魅力ある景観の形成を図っていく。

### 主な施設

活用事例において整備された施設、既存施設、また計画施設等

景観形成基準を定め、民間の方が、建築物や門または塀の新築、増改築または大規模な修繕を行うときに、適合するようにする。

### 活用状況

（スケジュール・今後の展開予定）

活用事例の計画・整備、開始時期、今後の展開予定等

平成13年10月2日景観形成地区に指定

#### （事業）

活用事例に適用されている事業

景観形成地区等の地域を対象として、当該地域の良好な景観形成を推進するため、修景事業を行う県民等からの依頼に対応して、修景助成事業、修景支援事業を実施している。

(関係主体)

計画や実施に際して不可欠な主体、特に地域住民団体、NPO組織、業界団体、民間事業者の関わり

指定地区内の住民が家屋の建て替え等にあたって、景観形成基準に沿って伝統的な集落景観を作り出している。

特徴

評価できる点、他事例にはないと考えられる特徴等

住まいは、様々な環境で暮らす「地域住民」の基本的な生活空間であると共に、都市の基盤整備と一体となって「まち」そのものを形づくっているため、地域住民と地域性を中心に考えた住まいづくり・まちづくりの推進を行う。

図版・写真等



担当(紹介)部署

担当：兵庫県県土整備部まちづくり局都市計画課都市景観係

(但馬県民局県土整備部参事(まちづくり担当)まちづくり課)



## 山口県 維新史回廊構想

### 位置

生活圏域名、市町村名、市町村における地区名等

県下全域

### 緑地資源の概要

活用緑地資源の名称、種類や規模等

名称	幕末維新に関連する史跡、資料収蔵施設、地域イベントなど
種類	
規模	

### 活用の目的等

活用事例の背景、目的等の概要

(目的等)

「維新」にゆかりのある歴史資源を有機的にネットワーク化し、「維新文化」の保存と伝承、そして「維新」という統一テーマによる魅力ある地域づくりを行う。

- ・回遊ルートの確立
- ・維新史回廊の拠点となる中核的文化施設の整備促進
- ・維新史回廊の魅力づくり支援
- ・回遊ルートの整備を支援

### 主な施設

活用事例において整備された施設、既存施設、また計画施設等

(計画施設)

明治維新館(仮称)[明治維新に係る歴史資料館及び県民参加による交流拠点として整備する予定]

### 活用状況

(スケジュール・今後の展開予定)

活用事例の計画・整備、開始時期、今後の展開予定等

平成14年度までに実施した主な事業

- ・関係市町村等からなる「維新史回廊構想推進協議会」設立
- ・シンポジウム、クルージング、写真展、体験ウォーク等のイベント開催
- ・「維新史回廊絵巻」の作成
- ・ホームページの開設

平成15年度以降実施する事業

- ・県内幕末維新関係史跡データベース構築
- ・県内外の幕末維新関係資料調査及びデータベース構築
- ・維新史回廊ルートマップの作成

(事業)

活用事例に適用されている事業

- ・ 維新史回廊推進事業（維新史回廊構想推進協議会への補助 [ 県との共同イベントの開催、調査研究等 ] 同協議会への維新史回廊探訪ツアー実施委託、シンポジウム開催委託等）
- ・ 文化回廊情報調査事業（関連史跡データベース構築委託）

(関係主体)

計画や実施に際して不可欠な主体、特に地域住民団体、NPO組織、業界団体、民間事業者の関わりに  
 県内市町村、郷土史団体、教育団体、観光団体等

特徴

評価できる点、他事例にはないと考えられる特徴等

地域の特性を生かしながら、県内各地域が連携した事業展開が可能となる。

図版・写真等



担当(紹介)部署

山口県環境生活部 文化振興課文化環境班 担当者 松村 電話083-933-2627

## 富山県 富山市 近代土木遺産の復元を通じた都市公園等整備

### 位置

生活圏域名、市町村名、市町村における地区名等

伏木富山港（富山地区）内港地区及び運河地区（富山市岩瀬～湊入船）

### 緑地資源の概要

活用緑地資源の名称、種類や規模等

名称	伏木富山港（富山地区）運河緑地
種類	緩衝緑地、休息緑地、シンボル緑地
規模	22.3ha

### 活用の目的等

活用事例の背景、目的等の概要

（背景及び目的）

富岩運河は昭和 10 年に神通川馳越線工事の廃川地を埋め立てる土砂を生み出し、豊富な電力を背景に工業化推進のために建設され、いわば、富山の土木史を象徴するものである。建設から約 70 年、富岩運河には、まず、産業施設として盛衰がみられた約 50 年の歴史があり、当初の使命を終えた運河は、その後、水も汚れてきたため、一旦は埋め立て計画により姿を消すこととなっていた。しかし、富山県は昭和 59 年に方針の転換を行い、運河は都市に残された貴重な水辺として保存・活用することとし、以来、浚渫や運河緑地整備、環水公園、中島閘門・牛島閘門の復元整備等が実施されてきた。

### 主な施設

活用事例において整備された施設、既存施設、また計画施設等

伏木富山港富山地区運河緑地 中島閘門（復元） 牛島閘門（復元） 富岩運河環水公園 岩瀬 P B S 遊歩道・植栽・公衆便所・ベンチ等

### 活用状況

（スケジュール・今後の展開予定）

活用事例の計画・整備、開始時期、今後の展開予定等

昭和 59 年	運河埋立方針から再生方針へ転換
昭和 60 年	富山 21 世紀水公園（神通川）プラン策定（神通川と富岩運河左岸の一体的整備を発案）
昭和 62 年	伏木富山港ポートルネッサンス 21 調査の実施（富岩運河を 6 つのゾーンに分け、それぞれのテーマに沿った整備の推進を提起）
昭和 63 年	とやま都市 MIRAI 計画（富山駅北地区再開発）・富岩運河環水公園整備事業計画採択
平成 9 年度	富岩運河環水公園一部供用開始
平成 10 年度	中島閘門復元・国の重要文化財指定 運河サミット開催
平成 13 年度	富岩運河活用検討調査委託（富岩運河活用検討委員会設置）
平成 14 年度	牛島閘門復元・有形文化財に登録 運河シンポジウム・運河活用体験会の開催

平成 15 年度	民間主体の活用へ 運河活用提言書とりまとめ、知事提出 運河まつり 2003 開催（運河まつり実行委員会設置） 周辺住民を中心とした運河愛護組織の設立
平成 16 年度以降	民間（周辺住民、企業、その他団体）中心の運河活用、運河まつりの継続開催 運河清掃ボランティア、運河懇談会、ちびっ子運河スクールなど

（事業）

活用事例に適用されている事業

伏木富山港ポートルネッサンス 2 1 事業（富山港）等

（関係主体）

計画や実施に際して不可欠な主体、特に地域住民団体、NPO組織、業界団体、民間事業者の関わり

運河愛護団体：母体 - 運河沿線自治振興会（愛宕、奥田、奥田北、豊田、萩浦及び岩瀬の 6 地区）、会員 - PTA、婦人会、商工会、周辺企業、カヌー・ボートクラブ等の有志

運河まつり実行委員会：愛宕、奥田、奥田北自治振興会、屋台・フリーマーケット出店者（婦人会、商工会、商店街、その他団体、個人）、大道芸パフォーマー等を募る。

特徴

評価できる点、他事例にはないと考えられる特徴等

- ・富山港から富山市中心部に伸びる人工水路と都市中心部に広大な水面が存在するロケーション。
- ・存在する富山市北部の広範囲にわたり、地域が運河で結ばれている。
- ・富岩運河を軸として、岩瀬運河や北前船で知られる回船問屋「森家」、旧制富山高校跡地、馬場記念・公園、国指定重要文化財「中島閘門」、「富岩運河環水公園」、国登録有形文化財「牛島閘門」など富山港や富岩運河、あるいは富山北部地域の歴史を垣間見ることのできる名所が並んでいる。
- ・運河を舞台としたバードウォッチング、ウォーク、花見など地区単位の住民活動はすでに実施されており、住民の意識も高まっている。
- ・運河まつりなどのイベントでは範囲が広すぎる分、一団体の力ではにぎわいづくりができないが、スペースが広い分、様々な団体とイベントを同時開催し連携することが可能である。

図版・写真等



<http://www.pref.toyama.jp/sections/1504/unga/teigensyo/teigensyo-no-teisyutsu.htm>

担当（紹介）部署

富山県土木部港湾課

## 山口県 下関市 関門景観の形成推進

### 位置

生活圏域名、市町村名、市町村における地区名等

下関市（北九州市）

### 緑地資源の概要

活用緑地資源の名称、種類や規模等

名称	関門海峡の景観
種類	景観
規模	

### 活用の目的等

活用事例の背景、目的等の概要

下関市、北九州市の両市民の貴重な共有財産である関門景観を保全、育成、創造し、魅力をさらに高めるとともに、将来の市民に継承する。

### 主な施設

活用事例において整備された施設、既存施設、また計画施設等

<p>関門景観協定の締結</p> <p>関門景観共同宣言</p> <p>関門景観条例の策定</p> <p>（条例の主な内容）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・基本理念</li></ul> <p>(1)関門景観の形成は、両市、両市民が連携して取り組む。</p> <p>(2)関門景観の形成は、市域内部のみならず、海峡の対岸及び海上からの眺望についても配慮。</p> <p>(3)将来の市民に、関門景観をより魅力あるものとして継承する。<ul style="list-style-type: none"><li>・市長の責務</li></ul><p>関門景観基本構想を策定する。<li>・市民及び事業者の責務</li><p>市民は、意識を高め、自ら進んで関門景観の形成に寄与する。</p><p>事業者は、事業活動に際しては、関門景観の形成に寄与するよう努める。</p><p>市民及び事業者は、関門景観基本構想を尊重し、市が実施する関門景観の形成に関する施策に協力する。<li>・関門景観形成地区</li><p>関門景観形成地区として指定し、地区に即した目標やガイドラインを定める。</p></p></p></p>
---

活用状況

(スケジュール・今後の展開予定)

活用事例の計画・整備、開始時期、今後の展開予定等

現在、関門景観形成地区の地区指定の範囲、景観指針案について検討を行っている。

(事業)

活用事例に適用されている事業

(関係主体)

計画や実施に際して不可欠な主体、特に地域住民団体、NPO組織、業界団体、民間事業者の関わり

特徴

評価できる点、他事例にはないと考えられる特徴等

下関市と北九州市の県境を越えた複数の自治体が景観に関して同一名称、同一条文の条例を制定するのは、全国初の取り組みである。

図版・写真等



1 海峡を囲む表情豊かな  
「山並みの緑の景観」を守り、育て、創る

2 積層する歴史の中で  
「個性あるまちの景観」を守り、育て、創る

3 躍動感のある海峡を繰取る  
「水際の景観」を守り、育て、創る

下関市

<http://mirai.city.shimonoseki.yamaguchi.jp/Contents/7D27A11F74/kanmon.html>

関門景観協議会

<http://www.kanmon-keikan.com/index.html>

担当(紹介)部署

下関市 都市計画課 電話 0832-31-1360